

経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県松戸市 松戸市立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	I 未 訓 方	救 臨 が 感 災 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
498,222	47,021	非該当	非該当	7：1

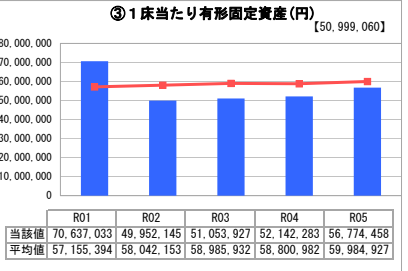
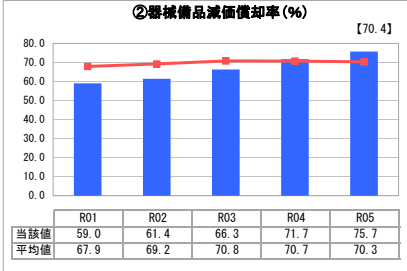
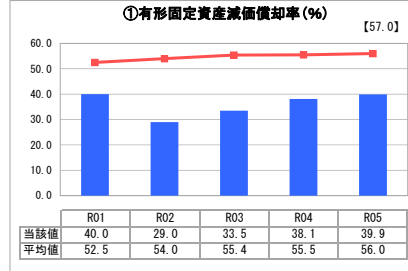
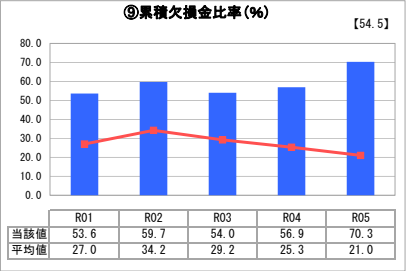
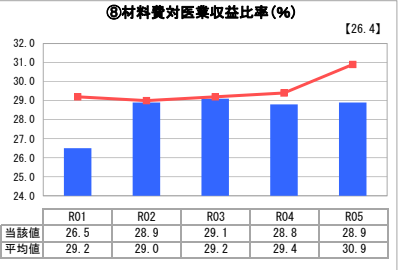
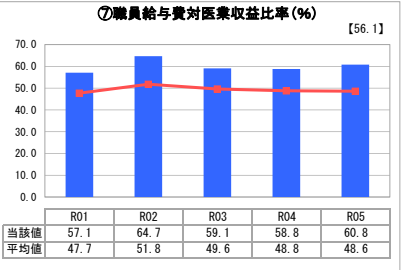
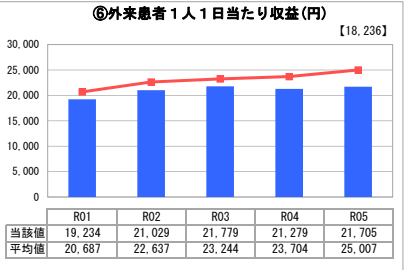
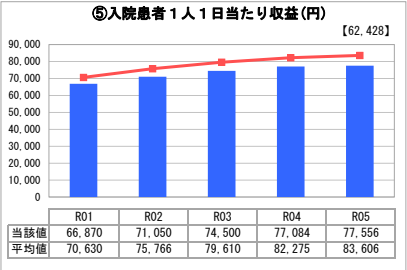
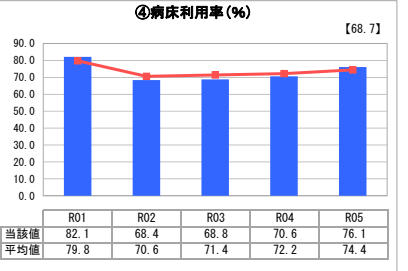
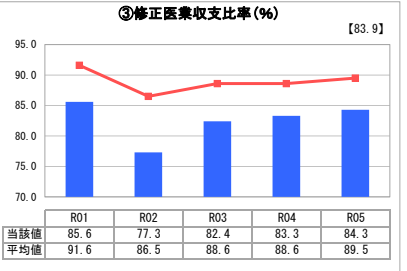
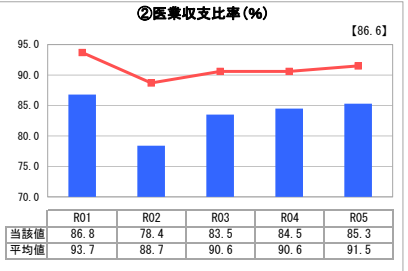
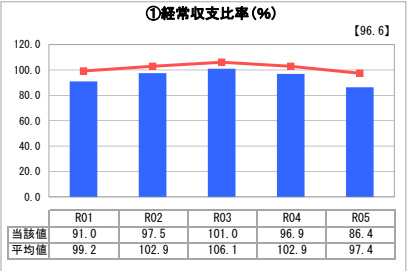
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
592	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	8	600
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
506	-	506

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[] 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の弊病・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

急性期医療を中心とし、一般診療のほか、救命救急医療、小児周産期医療、がん診療など高度急性期医療を担い、地域医療支援病院として地域の医療機関から、専門的な医療が必要な患者の受け入れを行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

主に、入院収益について、患者数及び患者1人1日当たり収益が増え、増収となり、医業収支比率は上昇。
しかしながら、新型コロナウイルス感染症関連の病床確保料の減少等により、医業外収益が減少し、経常収支比率は低下。
引き続き、収益の増加及び費用の適正化に努め、収支の改善を図っていく。

2. 老朽化の状況について

平成29年12月に病院の新築移転をし、また、令和2年度に旧病院跡地を売却しており、有形固定資産減価償却率は平均値を下回っている。ただし、新病院開院より6年が経過し、新病院開院時に整備した器械備品の減価償却が進み、器械備品減価償却率が上昇傾向にある。

全体総括

経営の健全性・効率性については、新公立病院改革プランとして策定している経営計画に基づき、救急医療の強化、地域医療支援病院機能の強化、手術部門の強化等の推進により、医療の質の向上を図り、患者数及び患者1人1日当たりの収益の増加を確保していくとともに、費用の適正化にも取り組む。
老朽化の状況については、平成29年12月に病院の新築移転をしており、建物等の老朽化の度合いは低い。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。